

総選挙アピール

全国の原水協の仲間のみなさん。

本日開かれた第220回通常国会の冒頭、高市早苗首相は国会を解散しました。1月27日公示、2月8日投票で総選挙がおこなわれることになりました。戦後最短、厳冬期の2月総選挙は36年ぶりです。

政権の支持率が高いうちに、冒頭解散に打って出て、政権の存続をはかろうとする高市首相の思惑が見えています。大義もなければ道理也没有。今度の選挙で自民党が多数を得れば、非核三原則の見直し、大軍拡、憲法改悪など反動政治の暴走がさらに加速することになるのは明らかなです。それを許してはなりません。

みなさん

この総選挙で、国連憲章・国際法を無視し、「力の支配」をふりかざすトランプ政権いいなりの高市自維政治に国民の審判を下し、核兵器禁止条約の流れを妨害し、非核三原則を見直し、「核兵器保有」への暴走を終わらせ、被爆国にふさわしい政治に流れを変えましょう。

4月のNPTR再検討会議、11月のTPNW再検討会議に日本が被爆国にふさわしい役割を果たすためにも、核兵器禁止条約の参加を求める勢力を前進させましょう。

そのために、政治選択を問う宣伝と対話、SNSを使った情報発信に全力をあげましょう。

被爆国日本の政府にあるまじき高市政権を告発し、非核三原則を守り、核兵器禁止条約に参加する政治に国民の平和と安全があることを訴えましょう。

トランプ大統領、アメリカ言いなりでいいのか、防衛力（軍事力）強化一辺倒で日本の平和は守れるのかを問いかけ、憲法9条を活かした平和外交への転換を訴えましょう。

宣伝に必要な横断幕、プラスター、チラシ、宣伝スポットなどは日本原水協のホームページからダウンロードできます。日本原水協は政治団体ではないので、選挙期間中も投票日まで、音出し、街頭宣伝、署名活動も自由です。

日本原水協ホームページ二次元コード→
(リンク先で「移動する」をクリック)



2026年1月23日 原水爆禁止日本協議会